



1/4（金）より玄関の棚のクリアケースにて掲示します。

貸し出しはご遠慮いただいておりますが、ぜひ手に取ってお子様との大切な時間を共有してみてくださいね。

0歳児（ひよこ組） 「まる まる」

「まるまるえっへん」「まるまるふにやり」「まるまるこまる」……。くり抜かれたふたつのまるい穴とシンプルでやわらかい線の組み合わせがさまざまな表情を生みます。穴あき絵本の傑作です。



1歳児（あひる組） 「いないいないばああそび」

まず登場するのは、手で顔をかくしたこいぬのコロちゃん。手の部分が仕掛けとなっていて、「いないいなーい」と手をめくると、「ばあー」と笑顔があらわれます。最後はママの番。ママの目の部分には穴があいており、お面のようにして遊ぶことができます。



2歳児（ぺんぎん組） 「ねずみくんとゆきだるま」

雪が降ってねずみくんは大喜び。雪合戦をしたり、雪だるまを作ったり、ねみちゃんとソリに乗ったり。するとうさぎくんがスキーを貸してくれました。滑ったことのないねずみくんは…。



3歳児（ねこ組） 「ともだちや」

「ともだちや」を始めることを思いついた寂しがりやのキツネ。1時間100円で友だちになってあげようというのだ。でも、その商売もなかなかうまくいかない。「お、おまえは、ともだちから かねをとるのか。それが ほんとうの ともだちか」



4歳児（とら組） 「おしいれのぼうけん」

おしいれの奥に広がる夜の街で、不気味な「ねずみばあさん」と遭遇したさとしとあきら。「さとちゃん、てを つなごう」。お互いの手のぬくもりに勇気をもらって、ふたりの大冒険が始まった。友情について、しつけについて、多くのことを考えさせられる絵本です。



5歳児（らいおん組） 「ワンダーがくしゅうランド1」

楽しく遊びながら、考える力を育てるワークブックです。



保護者の方向け

おすすめBOOK「おへそのあな」

子どもが生まれたときの感動がよみがえる。家事や仕事で時間に追われる毎日を通っていると、子どもが生まれたときの感動は次第に薄れていってしまうもの。ママのおなかから出てきた日とその子の誕生日ですが、おなかのなかでは赤ちゃんが、生まれていく日を待っています。おなかのそとでは家族みんなが、生まれてくる日を心待ちにしながら、準備をしています。おなかの中の赤ちゃんが、そんな様子をおへそのあなから見ているとしたら？おへそのあなから見える、聞こえる、におう……。そして生まれてくる前の日に、そっとひとこと、聞こえないように言うのです。そのひとことが……。泣けます。